

# 教育研究所だより

宮古島市立教育研究所  
指導主事 砂川 睦紀  
宮古島市平良字西里1140  
TEL 73-1104

連携大学（上越教育大学）を活用した校内研の推進に取り組んでいる平良第一小学校について、学校長と研究主任へのインタビューを通して紹介します。平一小学校は、教育学・教育心理学を研究分野とする上越教育大学教授の赤坂真二先生を校内研講師として招聘し、研修を深めています。

## 学校長へのインタビュー

平良第一小学校 佐久本 聡 校長



Q 1：校長の学校経営を推進する上で、上越教育大学教授（赤坂教授）活用することは、どのような点でメリットになっていますか。また、課題等がありましたら、教えてください。

A 1： **〈視点1〉** 学校経営（グランドデザイン）目標達成、カリマネに係る視点等

学校経営の点では、教育大学との連携ということもあり、講師（赤坂真二先生）との学びをとおして現在の教育における動向、これからの方向性を理論的な面からも共通確認することができ、目標に向けての学校のベクトルをそろえることができている。また、効果的な教育実践についても全国規模での参考事例（大学と赤坂先生の持つ豊富な情報）をもとに、校内研究を推進することができるのが大学活用の強みである。

カリマネの点から見ても、必要な人材や資源については外部を活用することも効果的であり、特に専門性が高い分野においては教職員自身の学びにもつながると同時に、課題解決（本校における「集団づくり」「授業づくり」の土台）となっている。また、適宜、講師と研究推進についての現状確認を行うことで、マネジメントサイクルの推進にも効果を上げている。

課題は、講師との連絡調整（大学や学会等）と研究を深めるための時間の確保である。

**〈視点2〉** 人材育成に係る視点等

大学講師による最新の教育研究は校長を含め教職員全体の資質・向上につながっている。また、本校は当該大学（講師）との研究は5年目であり、「平一メソッド」とも言うべき「集団づくり」「授業づくり」「インクルーシブ教育」の3本柱を主体にした研究実践は、OJTの充実によりミドルリーダーを中心に本校に赴任する教諭にも年度を超え確実に受け継がれている。大学と提携したブレない研究推進（研究の方向性）は、「学び続ける教師集団」の核となるミドルリーダーの育成にも大いに役立っている。

Q 2：要望等がありますか。



A 2：本校の研究推進については特に要望はありません。

現在はオンライン研修の時代である。オンラインでの大学の附属小学校や同様に教育研究を実践している学校との共同研究や合同授業研究などが実現できると、研究の質がさらに深まるとともに互いの教職員の資質・向上にも役立つのではないかと考える。

## 研究主任へのインタビュー

平良第一小学校 平良美和子 教諭



**Q1：学校の課題解決に向け校内研修を推進する上で、上越教育大学（赤坂教授）を活用することは、どのような点でメリットになっていますか。また、課題等がありましたら、教えてください。**

**A1：本校は、赤坂先生を招聘して5年目を迎えます。**

最初は落ち着きがなく、飛び出し児童が多く、授業どころではない学級もあったと聞いています。そこで、まずは「集団づくり」が重要であるということで赤坂先生にお願いしたのが本校と赤坂先生との出会いということでした。

私が赴任した年（4年前）から、全学級クラス会議を実施し、〈認め・支え・高め合う〉をテーマに取り組んでおります。

2年前は全クラスを参観して頂き、一人一人の先生方に勇気付けをして頂きました。それから先生方の志気が高まったのを覚えています。また、示範授業をして頂いたおかげでクラスを一瞬にして温かい雰囲気にする姿勢や児童をやる気にする言葉かけなど、価値づけ・意味づけ・勇気づけを身近で参観することができ、教師の方向性を示して頂きました。

また、講話では毎回、「集団づくり」に向けて何が重要であり、私たちが目指すことは何かを具体的に分かりやすく教えて頂いています。また、学級づくりの悩みや質問についても、いつも丁寧かつ的確にアドバイスを頂いています。

本校が「集団づくり」の重要性を知り、支持的風土づくりに日々取り組んでいけるのは、赤坂先生の方なくでは成り立っていないと思います。赤坂先生の人柄を含め、温かさが教師の勇気づけ・意味づけ・価値づけになっています。特に、来校された時は、教師一人一人に丁寧に言葉かけをして頂き、それを糧として進めています。

また、本校は今年度県指定の研究校となっています。今年度の5月にオンライン研修会をさせて頂きました。その際には、研究校として全職員がベクトルを一つに取り組むことの重要性と本校の今後取り組まなければいけないことなど具体的事項を丁寧に教えて頂きました。道しるべを示して頂き、その後、具体的取り組みを進めているところです。

本当に多忙な赤坂先生が本校を気にかけて頂いていることに感謝し、今後の継続を強く願います。

課題は、コロナ感染予防措置のため、来校できないことです。直接お会いして教えて頂きたいです。

### 関連事業のお知らせ

<上越教育大学幼児教育セミナー②>

6月16日（水）18:30~20:00

上越教育大学学校教育実践研究センターによる「これからの保育と幼小接続を考えるセミナー」第2回目が開催されます。5月27日付けの校務支援掲示板にてお知らせ&申込フォームが掲載されています。

ご確認の上、ドシドシご参加ください！

ちらし→

